

『ケアマネジメントの未来を拓く研修』に参加して

報告者：射水万葉苑本町サポートセンター
居宅介護支援事業所 石田 由美

令和7年8月8日(金) オンラインにて『ケアマネジメントの未来を拓く研修』が開催されました。

講師の国際医療福祉大学大学院 石山麗子氏から『ケアマネジメントの諸課題に関する検討会』『中間整理から見えてきたケアマネジメントの課題』として厚生労働省の動きや、これからの課題について、分かりやすく講義していただきました。令和6年4月15日ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会では、シャドウワークを含めケアマネジャーの業務が増加する中、“ケアマネジャーが業務に注力できる環境整備が必要”との検討内容が中間報告されていることを学びました。

グループワークでは、『個々のケアマネジャーが経験したシャドウワークは、ついいつやってしまうことが多いけれども代替となるサービスや社会資源はなかったか』について検討したことにより、新たな発見と視野を広くすることを学びました。

厚生労働省が分類した線引きの通り、"シャドウワークは業務外だから取り組まない"と、きっぱりと線引きするケアマネジャーはいないと思いますが、"突発的、単発的な対応なのか常態的な対応なのか"を見極め、常態化しそうな内容であれば、誰が担当として対応すべきなのか、支援者や自治体、地域包括支援センターの関係者も交えて検討していきたいと思います。

